

Export Exchange 2014 : 41 カ国から 200 名以上のバイヤー参加で好評を博す

41 カ国から 210 名の穀物バイヤーと、粗粒穀物のバリューチェーンに関わるあらゆるセクターを代表する国内輸出業者 200 名の参加を得て、Export Exchange 2014 会議は本年最大の世界穀物貿易会議となりました。この会議は世界中のバイヤーと米国サプライヤーのいずれもが大きな成功を収めるうちに 10 月 22 日に幕を閉じました。

アメリカ穀物協会 (USGC) と再生可能燃料協会 (RFA) により 2 年に 1 度開催されている Export Exchange は、その 3 日間のプログラム開催期間中、トウモロコシ、ソルガム、大麦、ジステラズ・ドライド・グレイン・ウイズ・ソリュブル (DDGS)、コーングルテンミールおよびコーングルテンフィードの貿易に焦点を当てるだけでなく、各国からの参加者の大半が参加する会議開催前後の現地視察にも力を入れています。今年、18 のバイヤーチームがこの会議に出席するとともに、19 州で農場、エレベーターと呼ばれる穀物倉庫、エタノールプラント、技術提供組織ならびに輸出用ターミナルを視察しました。こうした訪問団は米国の生産システムの規模や高度性を直接その目で確認し、米国がバイヤー需要を満たす能力を備えているとの確信を深めました。

終生続く関係の構築

Export Exchange では、メンバーが米国ワシントン州シアトルで開催される会議と現地視察に参加しながらも、商談を進めるために十分な時間がとれるようにプログラムが構成されました。

「Export Exchange のポイントは、単に今週ここで受注したかどうかということではないのです」と USGC の理事 Ron Gray は言います。「我々は、顧客との関係を築き育てることに注力しており、この関係は彼らが本国に戻ってから先何年もかけて醸成されることでしょう」

取引を後押しするための顧客教育

Export Exchange の参加者はサプライヤーと出会うだけでなく、世界の需給状況、世界の飼料穀物取引に影響を及ぼす主要な経済牽引要素、および輸送、金融、米国政策環境に関わる最新の動向についての概要を知ることができます。

顧客チームによる米国中西部視察

米国は世界最大の粗粒穀物輸出国です。記録的な豊作となったトウモロコシは収穫が済み、現在は輸出経路に到着しており、Export Exchange 前後の現地訪問では、世界のトップバイヤーは、自らの目で米国の供給と品質を観察する機会を得ました。

目次

- 2 ページ: 世界食料貿易、飼料穀物では強気の見通し、
- 3 ページ: 世界穀物貿易は農業生産におけるイノベーション、テクノロジーを歓迎
- 3 ページ: USGC は関係を促進
- 4 ページ: 米国穀物サプライヤーとのパイプ作りをしてください
- 4 ページ: エクアドルのバイヤーが語る Export Exchange の影響力



Export Exchange 2014 の開催期間中、世界各国のバイヤーとエンドユーザーは米国サプライヤーと重要なパイプを作りました。

2 ページの「好評を博した Export Exchange 2014」をご覧ください。

世界食料貿易、飼料穀物では強気の見通し

米 国ワシントン州シアトルで開催された Export Exchange 2014 会議の出席者を前に、10月21日にスピーチを行った Bunge Global Agribusiness 社の経済分析グローバルディレクターである Curtis Jones 氏は、世界の農業生産者および農業貿易の明るい見通しについて発言しました。

農産物輸出の見通しについての基調演説

基調演説で Jones 氏は、新興経済地域における人口の増加や急速な収入の上昇により、飼料穀物およびその他の農産物に対する旺盛な需要が今後も続くと言いました。

農産物の輸入は、アジア、中東および北アフリカに主導される形で今後も成長を続けると同氏は指摘しました。多くの国が自国の食料生産を増加させるにあたり、土地、水、その他の資源の制約という問題に直面しているため、こうした地域の需要の増大は構造的なものとなっています。同時に、こうした地域の国々は世界最速の経済成長を誇っています。

「米国農業の成長は輸出にかかっています。世界で最も急速に経済成長を遂げているのは外国であり、世界人口の95%は米国国境の外に居住しています」と話すのは USGC の理事 Ron Gray です。「米国の農産物輸出が経済発展や世界中の人々の生活の向上を下支えしているのです。私たちの顧客である皆様が世界中からシアトルに来て下さっていることを大変うれしく思っております。皆様へのサービスをどうやって向上させたらよいかをこの機会に学ぶ所存です」



Export Exchange 2014 で参加者に向けて発言する Curtis Jones 氏

米国の生産者、サプライヤーと農業ビジネス関係者側、そして世界中の顧客側双方とも、世界農産物貿易には、世界中に食料を届けながらも自国の事業と地域社会が将来的に利益を確保できるよう現実的な回収も計るという壮大な目的を掲げています。

米国農務省 (USDA) 海外農業局 (FAS) のデータによれば、米国の総農産物生産量の一部を占める米国粗粒穀物の輸出は、当協会が創設された 1960 年以降 70 パーセント以上も増加しています。◆

好評を博した Export Exchange 2014... 1 ページの続き



Export Exchange 2014 の他の写真は当協会の Flickr ページでご覧いただけます。

顧客チームは Export Exchange の前後の週に農産地に赴きました。チームのメンバーは、エジプト、日本、中国、EU そして東南アジアという多様な地域からの参加者です。当協会はこうした国々すべての市場に直接的な働きかけを行っており、国外 10 カ所に事務所を構えています。

Export Exchange 2014 についての詳しい情報は www.exporthexchange.org でご覧になれます。イベントや Export Exchange 前後の視察の様態を撮影した最新の写真およびビデオは当協会の Flickr ページ <https://www.flickr.com/photos/usgc> および YouTube の <https://www.youtube.com/USGrainsCouncil> をご覧ください。◆

詳しくは、アメリカ穀物協会の Facebook、Twitter および YouTube の各サイトをご覧ください。

[Facebook](#)

• [Twitter @USGC](#)

• [YouTube](#)

世界穀物貿易は農産物生産におけるイノベーション、テクノロジーを歓迎

CropLife International 社の最高経営責任者（CEO）兼社長である Howard Minigh 博士は、10月22日の Export Exchange 2014 会議において 500 名近くの出席者を前にして、バイオテクノロジーが世界中の農業生産者およびその顧客に恩恵をもたらす、植物研究におけるイノベーションが急速に増大しつつある世界の食料需要を満たす上で必要不可欠であると話しました。



Howard Minigh 博士は 2014 年 10 月 22 日、増加の一途を辿る世界の中間層に食料を供給するという観点からのバイオテクノロジーの役割について話しました。

Minigh 博士は、ワシントン州シアトルに海外および国内から集まったバイヤーや貿易関係者を前にして、この隔年の会議が両者間の関係構築を支援して今後の穀物貿易を促進する目的を持つものである旨を発言しました。

バイオテクノロジーの恩恵

PG Economics 社によれば、1990 年台半ばに市場導入されて以来、植物関連バイオテクノロジーがもたらした経済利益は農場レベルで 1,170 億ドルを上回っています。2013 年、27 ヶ国 1800 万人の生産者、つまり開発途上国の低収入生産者の 90%以上がバイオテクノロジー作物の作付を行いました。

バイオテクノロジーの採用が世界規模で広がっているにもかかわらず、科学に後押しされるのではなく、政治勢力により押し進められる予期できない規制の枠組みが世界貿易に大きな障害を引き起こすことがあ

ります。輸入大国の中には承認に要する期間が長引く国もあります。こうした傾向は世界有数の輸出国である米国にも影響を及ぼします。つい最近の 2008 年には、米国はバイオテクノロジー承認において世界のリーダーでしたが、現在はこの措置でカナダ、ブラジル、アルゼンチンにリードされています。

世界に食料を供給する

「国際連合食糧農業機関（FAO）は 2050 年までに世界の食料生産を 70%増加させる必要があると予想しており、これはより少ない資源でより大量の生産を目指さなければならないということを意味しています」と USGC 理事の Ron Gray は話します。「この需要を満たすため、あらゆる種類の、よりいっそう優れたテクノロジーが我々には必要ですし、食糧安全保障への道筋として貿易を引き続き積極的に受け止めていかなければなりません。こうしたことは Export Exchange のような場で議論すべき重要な課題です」

当協会の認識では、どの国にとっても食糧安全保障は優先事項であり、国際貿易はあらゆる人々の食糧安全保障を強化するための強力なツールです。貿易によって確実化されるセーフティネットを活用し、増加しつつある、より品質の優れた食糧選択肢を求める中間層の需要を満たすためには、各国が自給率のレベルを超えてそれぞれの食糧安全保障のコンセプトを広げていくことが不可欠です」◆

USGC は食糧安全保障と経済成長を前進させる関係を促進する

1 960 に創設されたアメリカ穀物協会は、相手国の文化やニーズに合った個別のプログラムを通じて、米国の大麦、トウモロコシ、ソルガムおよびこうした穀物から作られる付加価値製品のために輸出市場を開拓しています。USGC の技術プログラムでは、家畜・家禽生産者に粗粒穀物の効果的な使用方法や効率的な運営方法の指導を行っています。貿易サービスに関わる取り組みとしては、既存および潜在的な顧客に対し金融や政府の政策、米国の粗粒穀物の品質や価格など、米国のマーケティングシステムについて指導しています。USGC の貿易指針においては、米国粗粒穀物の輸出に対する海外諸国の障壁が認識されています。

4 ページの「販売促進」をご覧ください。

詳しくは、アメリカ穀物協会の Facebook、Twitter および YouTube の各サイトをご覧ください。

[Facebook](#)

• [Twitter @USGC](#)

• [YouTube](#)

販売促進...3 ページの続き

Export Exchange 2014 会議は今年アメリカ穀物協会が後援した数多くのプログラムのほんの一例にすぎません。こうしたプログラムは当協会の会員とバイヤーとの関係を構築し、ひいては事業拡大につなげるためのネットワークづくりを促進することを目的としています。

貿易の価値を高める

当協会は Export Exchange のような会議開催以外の活動も行っていきます。2014 年には、米国エタノールの輸出先として有望な市場の評価を開始し、現地の事業拡大を目指してタンザニアの家畜協会と協働し、日本の顧客には低脂肪ジスチラーズ・ドライド・グレイン・ウィズ・ソリュブル (DDGS) の実践的な情報を提供し、MAIZALL のような取り組みを通じてバイオテクノロジーのメリットを広く知らしめ、トウモロコシ収穫時品質レポートやトウモロコシ輸出貨物品質レポートを発行しました。

こうした取り組みが功を奏して、米国は粗粒穀物の最大輸出国になっています。当協会が活動してきたこの 54 年の間に、米国の粗粒穀物の輸出量は 400 パーセント以上増加しています。

単なる会議以上のもの

穀粒のばらつきがないことや品質、米国のマーケティングおよび輸送システムの透明性、信頼性を理由に、Export Exchange や USGC 顧客チームの参加者の多くが米国の穀物の購入を今後も優先し続けると表明しています。USGC の取り組みは米国のマーケティングシステムに対するバイヤーの信頼の獲得に貢献しています。

海外の顧客と米国の農業とを結ぶ架け橋として信頼を得たアメリカ穀物協会は、これからも穀物の供給、使用、信頼性についての情報を引き続き顧客に提供する所存です。

エクアドルのバイヤーが語る Export Exchange の影響力

Export Exchange 2014 に先立つ訪問プログラムのひとつに 6 名の南米飼料業界幹部が参加し、米国を訪れて生産者や貿易関係者と直接面談するというものがありました。この訪問団は米国から輸入するときどのようなことが期待できるかということについて、貴重な情報を直に得ることができました。

「米国でどのように品質管理が行われているかわかったので、今では米国の穀物を自国で消費できると考えています」と BioAlimentar 社の CEO である Edisson Garzón 氏は話してくれました。「これは素晴らしいプログラムで、ここで私は多くのことを学びました」

Garzón 氏が Export Exchange 2014 の影響力について説明している短いビデオは http://youtu.be/Xl__lLm73v8 でご覧いただけます。◆



世界中で継続して米国粗粒穀物と併産物の販売促進に取り組む USGC のスタッフとコンサルタント

「米国の生産者やサプライヤーは輸出に振り向けることのできる高品質の粗粒穀物と併産物を豊富に保有しているということを業界や政府のリーダー達が伝える会議に出席するのも重要なことです」とアメリカ穀物協会の会長兼 CEO の Tom Sleight は言います。「Export Exchange や協会のその他のプログラムでもそうした情報やそれ以外の情報も提供しています。それでも、現場に行って、生産者や輸出業者と話すことで、直接得られる情報に代わるものはありません」◆

米国穀物サプライヤーとのパイプ作りをしてください

アメリカ穀物協会は海外のバイヤーと米国のサプライヤーとを結ぶ信頼の置ける架け橋となります。この使命を果たすために、当協会では以下のホームページに顧客となりうる人々との接点を求めている穀物輸出業者のリストを掲載しています。

<http://grains.org/buyingselling/corn/commercial-grain-exporters> 掲載されているサプライヤーにご自由に連絡され、貴社のニーズを満たしてください。◆

詳しくは、アメリカ穀物協会の Facebook、Twitter および YouTube の各サイトをご覧ください。

[Facebook](#)

• [Twitter @USGC](#)

• [YouTube](#)